校長あいさつ

岡山県立岡山瀬戸高等支援学校長　仲達啓一

本校は、平成２１年４月に就労を目指す高等部単独の特別支援学校として開校し、１４年目を迎えるに至りました。この間、多くの卒業生が一般企業に就職し、県内を中心に活躍しています。「自立」と「貢献」の校訓のもと、生徒一人一人の可能性を大切にし、人間性豊かな社会人の育成を目指していきます。本校へのご支援とご協力をお願いいたします。

令和４年度の具体的な学校教育目標は、次のとおりです。

1 生徒指導と生徒支援の両輪としての在り方の検討
（1）生徒個々の実態に応じて、全体指導だけではない弾力的な指導を展開する。
（2）自立活動を基本とする生徒指導と生徒支援の両面アプローチを行う。

2 生徒の将来を見通した高等支援学校としての職業教育と進路指導の展開
（1）職業コース指導、教科指導の従来の価値観や枠にとらわれることのない創造的な指導を試行する。
（2）「就労し続ける力」を重点とする指導を実践し、就労率だけでなく、定着率に関する情報をまとめる。
（3）本校の教育課程や特徴をもとにその魅力化を進め、学校公開、教育相談、進路開拓、地域連携、学校ＨＰ等の場での発信に努め、入学希望者を増やす。

3 教師の専門性の向上（研究発表会を含めた）
（1）研究発表会を実施する。
（2）教職員の一人一人が学校運営に関する視点、組織人としての視点をふまえ、自己研鑽及び研修に努める。
（3）対外の教員研修に取り組み、本校と他校の違いを踏まえつつも新しい価値観や教育観を学ぶ。

4 インクルーシブ教育の推進（高等学校等との連携）
（1）高等学校における特別支援教育の推進を図り、特別支援コーディネーターの派遣を積極的に進め、今後の連携の在り方について検討する。

5 ICT 教育の推進
（1）県情報教育推進室の方針に沿い、軽度知的障害対象学校としての特徴を活かし、県下支援学校の ICT 教育推進の先進的な取り組みを創出する。
（2）デジタル化による業務の効率化を促進する。

6 働き方改革の推進
（1）会議時間、協議の進め方を見直し、教職員全員が業務の効率化を目指して行動する。
（2）定時退庁日は６：００退校を目標とし、全員が退庁できるように全体で努力する。